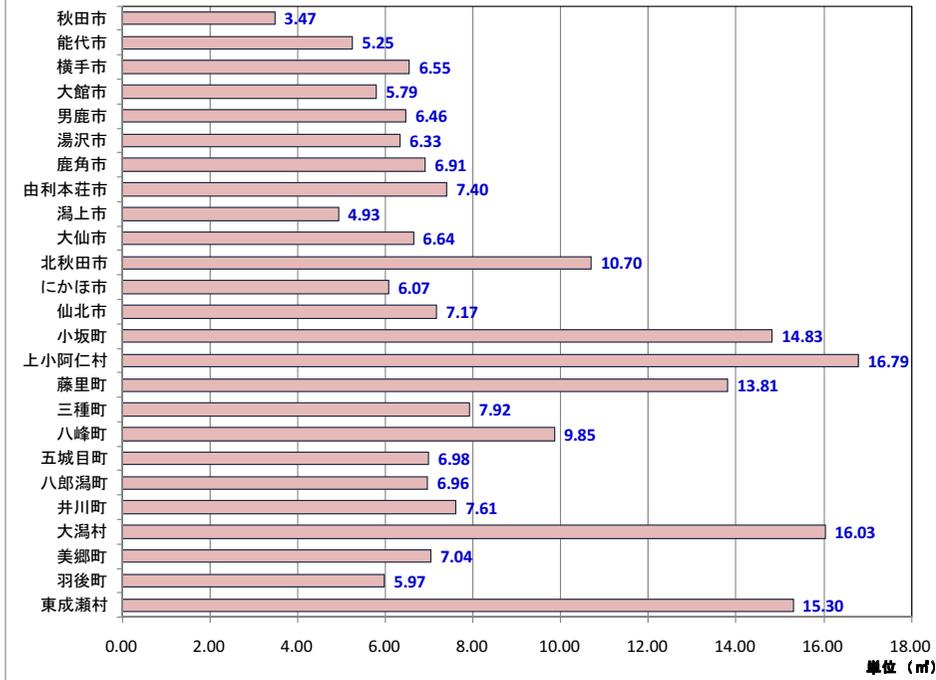


人口1人当りの公共施設延床面積



出典

■県内各市町村人口

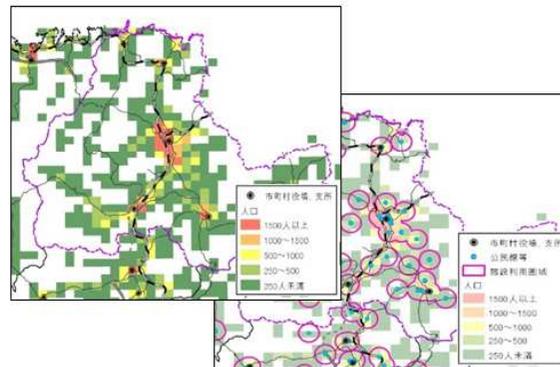
秋田県の人口と世帯(月報)平成25年4月1日現在(235KB)(エクセル文書).xls

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1352954419853/index.html>

■公共施設状況調

市町村経年比較表(平成18年度~24年度).xls

<http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/>



自治体	住民1人当り延床面積(m²)	人口
秋田市	3.47	319,367
能代市	5.25	56,993
横手市	6.55	94,866
大館市	5.79	76,393
男鹿市	6.46	30,679
湯沢市	6.33	48,719
鹿角市	6.91	33,065
由利本荘市	7.40	82,374
潟上市	4.93	33,662
大仙市	6.64	85,352
北秋田市	10.70	34,634
にかほ市	6.07	26,560
仙北市	7.17	28,414
小坂町	14.83	5,778
上小阿仁村	16.79	2,540
藤里町	13.81	3,654
三種町	7.92	18,001
八峰町	9.85	7,773
五城目町	6.98	10,014
八郎潟町	6.96	6,301
井川町	7.61	5,217
大潟村	16.03	3,076
美郷町	7.04	20,828
羽後町	5.97	15,996
東成瀬村	15.30	2,756

全25市町村間での比較を行うために秋田県が公表している「秋田県の人口と世帯(月報)J(H22国勢調査からの推計)から各市町村のH25年4月1日の推計値を引用

総務省公共施設状況調によると、平成24年度末の人口1人当たり延床面積は、中核市全体の平均(3.30m²/人)となっています。

しかしながら、20年後の人口は現在より約16%減少(国立社会保障・人口問題研究所推計値)すると予想されており、現在の施設保有量のままでは過剰になることが想定されます。

このため、公共施設等総合管理計画の作成にあたっては、地区別の将来人口を推計するとともに、各地区ごとに必要とされる公共施設の質や量、公共施設のサービス圏域人口を把握し、検討の基礎データとします。

現在・将来の地域別人口・年齢構成比を算出し、必要とされる公共施設の質や量(利用者ニーズ)が異なることを示します。
※将来人口はコーホート法により推計します。用途、利用者に応じた適切なサービス圏域を発生し、人口分布データとの重ね合わせにより、市民サービス水準を計る指標の1つとして、施設ごとのサービス圏域人口を算定します。